

11月
定例議会

市民の声を代弁して 田辺市長の政治姿勢を問う

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2018 - No.9

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcpss.jp/
メール yk5f5@jcpss.jp



11月議会が11月21日(水)から12月13日(木)の日程で開催されています。

◆◆◆
審議する11月補正予算(案)は、一般会計約10億7千万円、特別会計が約6億3千万円、総額で、約16億9千700万円です。

一般会計補正予算の主な内容は、**交流人口拡大を目指す地方創生**として、①今川義元公生誕500年祭事業負担金(今川復権まつり等)に1,800万円、②三保松原文化創業センター運営事業でオープニングイベント等に590万円、**社会基盤整備**として、①追手町音羽町線の水辺デッキの整備工事に4,912万円余、②呉服町通線の紺屋町地区のモーター化事業に1,000万円、**子育て環境の充実**として、三保と折戸のこども園の統合・建替・民営化に伴う施設整備費の助成に4,127万円余、また台風24号の災害復旧事業に7億8,747万円などです。その他、特別会計や条例改正など16議案が提案されました。
党市議団は市民要求にもとづいた論戦を行います。

11月定例会本会議、常任委員会日程

会期：11/21～12/13(23日間)
会場：静岡庁舎本館
開会：午前10時

- | | |
|---------------------------------------|-------------------|
| ○本会議(議案上程)
11/21(水) | ○常任委員会
12/5(水) |
| ○総括質問
11/30(金)、12/3(月)、
12/4(火) | ・総務委員会(内田) |
| ○本会議(議案質疑・討論・採決)
12/13(木) | ・企業消防委員会 |
| | ・市民環境教育委員会(寺尾) |
| | 12/6(木) |
| | ・厚生委員会(鈴木) |
| | ・観光文化経済委員会(杉本) |
| | ・都市建設委員会(望月) |

※本会議、常任委員会のすべてが傍聴できます。

11月議会での総括質問

11月30日(金)・12月3日(月)・12月4日(火)
傍聴にぜひお越しください。



内田りゅうすけ議員
市長の政治姿勢について
・清水庁舎移転計画について
・生涯学習交流館について



鈴木せつ子議員
国民健康保険について
市民文化会館再整備について



寺尾 昭議員
大規模災害に対応する静岡市の防災力について



杉本まもる議員
避難対策について
・要援護者の避難行動について



望月賢一郎議員
生涯学習交流館について
駿河湾フェリーについて

※詳しい日時は、議員団事務局までお問い合わせ下さい。

中小業者の振興施策を求めて対市交渉

11月12日、静岡民商と清水民商合同で、中小業者の切実な要求を掲げ、静岡市と交渉しました。

公契約条例では、市の発注工事の下請け単価がたかかれていた実態を告発、市は「民間の問題でそこまで関知できない、条例で賃金を定めるのは問題がある」などと条例制定に背を向ける態度でした。その他、住宅リフォーム助成の制定や国保料の引き下げなど12項目を要請。市議団も経済の主役中小業者の支援に取り組んでいきます。



静岡市と交渉する静岡民商・清水民商

国保料引き下げよ！論戦始まる

国保の県単位化後、初めての議会論戦が始まります。

市の国保会計は、23億6千万円の黒字に加え、61億円もの国保基金(政令市1位)があります。合計84億円もの活用可能額を保険料引き下げに使い、負担軽減で暮らしを守るべきです。

県による保険料値上げ、収納率引き上げの圧力を跳ね返し、社会保障制度としての国保制度を守るためにも、市民の皆さんと力を合わせ、市議会での論戦に全力を挙げます。



国保料引き下げを訴える市議団